



の mascot キャラクター
「いやはらッキー」

Road to 2019! ~国体への道~

vol.3

いきいき茨城ゆめ国体2019

このコーナーでは、3年後に開催される茨城国体に関するさまざまな情報をお伝えします。今回は、前回の茨城国体「水と緑のまごころ国体」の様子を振り返ります。さあ、皆さんと一緒に…PLAY BACK 1974!

【PLAY BACK 1974!】

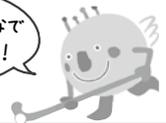
- ▼1974(昭和49)年に、27市町村で30競技が行われました。東海村では阿漕ヶ浦公園でホッケーが行われ(写真①)、一般女子茨城代表の試合は天覧試合でした。
- ▼茨城県選手団の成績は、天皇杯1位、皇后杯1位。13競技で1位を獲得し、ホッケー一般男子では2位となりました。
- ▼県内3か所で炬火が採火され、3コースでリレーが行われました。採火のうち1か所は、日本原子力研究所東海研究所(現・日本原子力研究開発機構原子力科学研究所、写真②)で行われ、村内もリレーのコースとなりました。

詳細は
ホームページへ!



▲国体にご臨席された昭和天皇と香淳皇后

国体をみんなで盛り上げよう!



【問い合わせ】生涯学習課国体推進室(☎282-1711 内線1423)



こちらは、防災とうかいです

Vol.10

子どもたちを守る「災害時引き渡し」

平成23年3月の地震(東日本大震災)が起きた午後3時前——。多くの児童・生徒が下校中だったり、まだ在校していたりして、保護者が子どもたちの安否や所在を確認するだけでも、大変な時間がかかりました。

村ではこの教訓を踏まえ、学校や幼稚園、保育所ごとに災害時における引き渡しのルールを決めました。保護者や教師と共に防災訓練を実施し、安全・円滑に子どもたちを引き渡せるよう、取り組みを進めています。

【子どもたちが自ら命を守る】

災害発生時に、子どもたち自身が「自助」のスキルを発揮できるようにするために、学校等では、地震や津波、火災等から命を守る防災訓練を定期的に行っています。

東日本大震災後は、小中学校で兄弟や姉妹がいる児童・生徒が円滑に合流できるよう、近接した東海南中学校と中丸・舟石川小学校が合同で訓練を行うなど、新たな試みを行っています。

【引き渡しの基本的なルール】

- 村災害対策本部から学校等に対し、子どもたちの安否や施設の被災状況等の確認と、災害応急対策のための必要な指示を行う。
- 村災害対策本部から防災行政無線放送や緊急速報メールを使い、村内全域に情報を発信する。
- 学校等から、保護者が登録しているメールアドレスへ連絡する。
- 学校等での引き渡しができなかったときは、村が開設した避難所での引き渡し等の対策をとる。村では、引き続き学校や保護者等の協力を得ながら、災害時における円滑な引き渡しを目指していきます。皆さんも、いざというときの家族の集合場所や連絡方法等を話し合っておきましょう。



【問い合わせ】

防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(☎282-1711 内線1524)